

ふくおか & MAFF

2022.6
Vol.36

2022年5月31日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- カキ殻を活用した肥料の取組～地域資源の循環システムを構築～（JA糸島）
- 熱中症にご注意を！～MAFFアプリや熱中症対策アイテムを活用しよう～
- 各種お知らせ！



カキ殻を活用した肥料の取組

～地域資源の循環システムを構築～（JA糸島）

近年、糸島市では牡蠣の養殖が盛んで、多くの方が牡蠣小屋を訪れ、焼き牡蠣を楽しんでいます。そのカキ殻を使って肥料をつくる等、地域で資源を循環する取組をご紹介します。

一 取組の経緯は？

カキ殻は燃えるゴミとして処理されていましたが、炉が冷えたり、塩分により炉やゴミ収集車が傷んだりするなど、費用上の課題もありました。それを**資源として肥料に使う**という発想で取り組み始めました。

一 どんな仕組みですか？

牡蠣小屋でお客様自身がカキ殻を分別し、牡蠣小屋事業者自ら、JF糸島(漁協)が設置した集積所へ運びます。それを石灰を製造する大坪GSI株式会社が有償で引き取り、粉碎、加工、包装し、肥料としてJAへ納入する仕組みです。カキ殻とその他のゴミを分別できるよう、2種類のバケツを牡蠣小屋の客席に設置する等、工夫し、皆様の協力を得ながら進めました。



a：カキ殻石灰肥料（シーライム）。2010年に販売開始。b：JA糸島（アグリ店舗）。オリジナル資材も豊富。養殖中に死んだ牡蠣と地域のお困りものである竹を活用したバンブーシーライムも開発・販売。c：堆肥による土づくりの大切さも伝える。未利用資源である剪定枝を活用したパーク堆肥を2021年に商品化。

お話を伺いました！



古藤 俊二氏

JA糸島経済部部長補佐。カキ殻石灰肥料を開発。著書に「ドクター古藤（コトー）の家庭菜園診療所」。

大事なことは入り口（困っていること）と出口（喜んでもらうこと）の2つを考えること！地域資源循環のため、これからも新たな取組に挑戦していきたい！



一 販売について

JA糸島オリジナル商品のカキ殻石灰肥料として販売しています。その量は年間約500tで、ほぼ売り切れです。購買層はプロから家庭菜園まで幅広いです。生産量はカキ殻の発生量次第ですが、糸島市の牡蠣小屋から廃棄されるカキ殻の約7割を活用しています。

一 取組継続のポイントは？

海とのコラボができ、都市に近い糸島の地域性もありますが、関係者の皆様の協力が大きいです。分別する消費者、回収に協力する牡蠣小屋の関係者、集積所を提供する漁協関係者、SDGsの一環として協力する大坪GSI株式会社、広報等で協力する糸島市等、皆様のおかげです。

お話をいただき、ありがとうございました！

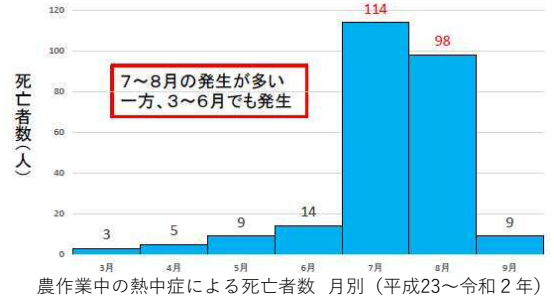


熱中症にご注意を！～MAFFアプリや熱中症対策アイテムを活用しよう～

比較的農作業がしやすい4、5月でもビニールハウス内等で熱中症による死亡事故が発生しています。作業前・作業中の心がけやアプリ・アイテムの活用で予防しよう！

夏の農作業で心がけること！

1. 日中の**気温の高い時間帯を外して作業を！**
2. 作業前・作業中の**水分補給、こまめな休憩を！**
3. **熱中症予防グッズを活用！**
4. **単独作業を避けよう！**
5. **高温多湿の環境を避けよう！**



熱中症予防等に関する情報はこちら↓

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/index-33.pdf

熱中症警戒アラート MAFFアプリで利用できます！

登録すると、熱中症警戒アラート（高温注意情報）が発表された際に、「重要なお知らせ」としてプッシュ通知されます！

ダウンロードはこちらから↓



Android



iOS

ロック画面のプッシュ通知



熱中症対策アイテム



▲ファン付きウェア



▲冷却ベスト



◀ウェアラブル端末

バケツの水を使う
ミストファン ▶



農林水産業における熱中症対策アイテム集より↓
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou_anzen/attach/pdf/catalog-26.pdf



各種お知らせ！

☆ 農業版BCP(事業継続計画)

自然災害などの緊急事態に遭遇した場合、事業資産の損害を最小限にして、事業の継続や早期復旧を可能とするための計画です。ぜひ作成の検討を！

詳細はこちら → https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html

BCPはお金のかからない保険

災害の際に何をすべきか、判断スピードが速くなる

※ 農林水産省HP「農業版BCP作成者の声」より

☆ 「施設園芸セーフティネット構築事業」

国と農業者で1：1で積み立てを行い、燃油価格高騰時に補填金をお支払いします。補填に使用されなかった皆様の積立金は、事業終了後に還付されます(掛け捨てではありません)。加入募集中！詳細はこちら↓

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kaki/220427.html>

☆ 福岡県拠点ホームページ

無人ロボット田植機の動画や関係機関へのリンクなど、更新中！



※JAグループ福岡が行う食農教育活動の総称。

<https://shokunonlove.com/>



無人ロボット田植機による田植作業

福岡県農林水産部 農産課 2022年4月20日

2026年2月2日修正

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261 (代表)
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

